

平成 28 年熊本地震による被災地域
の中小企業に勤務されていた労働者の皆様へ

賃金の支払の確保等に関する法律に基づく

「未払賃金の立替払制度」の御案内

この度の平成 28 年熊本地震（以下「地震」といいます。）により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い再興をお祈り申し上げます。

今回の地震による被害を受けられた皆様の中には、お勤めになっていた企業が地震によって直接被害を受けることにより、事業活動の停止を余儀なくされ、賃金支払のための資金確保に支障をきたすなど事実上の倒産状態に至ることにより、賃金の支払を受けられなくなることも懸念されます。

このような被災地域で働いていた皆様のために、下記によりできるだけ早く未払となっている賃金の立替払の手続を進めることができるよう、各労働基準監督署等において相談と申請の受け付けを行っています。該当する方は御相談ください。

I 未払賃金の立替払制度の内容

未払賃金の立替払制度とは、企業が倒産したため、賃金が支払われないままに退職した労働者に対して、その未払賃金のうち一定範囲（8割相当額）を国が事業主に代わって立替払をする制度です。

立替払ですので、立て替えた賃金債権の請求権は、国が取得することになります。

II 今回の地震に関連して立替払を受けることができる方

労災保険の適用事業として1年以上にわたり事業活動を行ってきた中小企業（法人、個人は問いません。）に使用されていた労働者で、地震の直接的な被害により企業が倒産に至ったことに伴い退職し、「未払賃金」（後記III参照）が残っている方々です（ただし、未払賃金額の総額が2万円未満の場合は、立替払の対象とはなりません。）。

III 立替払の対象となる未払賃金

立替払の対象となる「未払賃金」は、退職日の6か月前の日（例えば退職日が平成28年4月14日でしたら、平成27年10月14日）から立替払請求日（後記IVの3参照）の前日までの間に支払期日が到来している「定期賃金」及び「退職手当」であって、未払となっているものです。

なお、立替払の額には、年齢ごとに上限額が定められています。

IV 今回の地震における立替払の請求手続

今回の地震に関連し立替払を受けるには、次の手続を必要としますが、請求手続に使用する申請用紙は、各労働基準監督署等に用意しておりますのでお申し出ください。

1 対象企業の認定

- (1) 倒産した企業の本社を所轄する労働基準監督署長に「認定申請書」を提出して、企業が倒産して事業活動が停止し、再開する見込がなく、かつ、貸金支払能力がないことについて認定（以下「倒産の認定」といいます。）を受けてください。

倒産の認定は、労働者の代表が一度行えばよいこととされておりますので、本社に勤務する労働者が代表として申請されることをお勧めします。

- (2) 認定申請には、申請される方の身分証明書及び印鑑等のほか、会社の貸金台帳、就業規則、出勤簿等の労務関係書類及び財務関係が分かる書類が必要とされておりますので、事業主や労務担当者とともに労働基準監督署に申請に来られるようお願いします。

混雑も予想されますので、事前にお問い合わせされることをお勧めします。

認定申請を行う方は労働者の代表1名ですが、若干名の同僚が同行することは差し支えありません。

認定申請時に持参していただきたい資料

申請手続の簡略化を行っています。資料を用意できないなどお困りの方は、認定申請を行う労働基準監督署に御相談ください。

- ①写真付き身分証明書、印鑑
- ②事業場（会社）の罹災証明書
- ③労働保険概算保険料申告書等労災保険番号が記載されている書面
- ④貸金台帳
- ⑤出勤簿（タイムカード）、労働者名簿
- ⑥就業規則（貸金規程、退職金規程を含む）
- ⑦商業登記簿又は営業許可書（廃業届を含む）
- ⑧直近の決算報告
- ⑨会社の土地、建物の登記簿
- ⑩会社の主な資産状況が分かる書類（預金・有価証券残高証明書、売掛債権・換金可能な動産一覧表）
- ⑪その他の労務、財務関係資料

2 未払貸金の額等についての確認

前記1の倒産の認定を受けた後に、勤めていた事業場（本社を含む。）の所在地を管轄する労働基準監督署長に「確認申請書」を提出して、未払貸金の額等の確認（以下「確認」といいます。）を受けてください。

確認を円滑に行うために、申請される方の写真付き身分証明書及び印鑑等のほか、給与明細書、昇給に係る通知、給与振込み記録のある銀行通帳など、貸金額の分かる書類を御持参ください。特に、退職金についても申請される方は、退職金規程などの支給額の算定できる資料を添付してください。

確認申請時に持参していただきたい資料

申請手続の簡略化を行っています。資料を用意できないなどお困りの方は、確認申請を行う労働基準監督署に御相談ください。

- ①写真付き身分証明書、印鑑
- ②振込を希望する申請者本人名義の預金通帳
- ③支給賃金額の分かる書類（賃金台帳、労働契約締結時の賃金に関する書面、給与明細書、昇給に係る通知、給与振込記録のある銀行通帳など）
- ④就業規則（賃金規程、退職金規程を含む）、労働協約
- ⑤退職・解雇に係る通知
- ⑥出勤簿（タイムカード）／⑦労働者名簿　／⑧雇用保険の離職証明書
- ⑨その他の労務関係資料

なお、認定申請時に提出済の書類は省略できます。

3 立替払の請求書の提出

確認が済みますと「確認通知書」とともにお渡しする「立替払請求書」等に振込を希望する銀行口座等必要な事項を記入し、

独立行政法人労働者健康安全機構

〔担当：賃金援護部 未払賃金立替払相談コーナー（☎044-556-9881）〕

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地ソリッドスクエアビル東館

へ郵送により提出してください。

後日、請求された方が指定した金融機関に立替払金額が振り込まれます。

V 今回の地震に関連して立替払の対象とならない企業

①労働者が雇用保険失業給付の特例措置を受けている企業

②災害復旧貸付制度等を利用している企業

は、倒産したと認められませんので、立替払はできません（利用予定も同じ。）。

※不正受給について

偽りその他不正の行為により立替払金の支給を受けたときは、立替払金額の2倍の額の給付を命じられるほか、刑事責任を問われることになります。

熊本労働局管内の労働基準監督署の所在地

- | | |
|---------------------------------|--|
| ○ 熊本労働基準監督署
(月～金 8:30～17:15) | 所在地 熊本市中央区大江 3-1-53
熊本第2合同庁舎 5階
☎ 096-362-7100 |
| ○ 八代労働基準監督署
(月～金 8:30～17:15) | 所在地 八代市大手町 2-3-11
☎ 0965-32-3151 |
| ○ 玉名労働基準監督署
(月～金 8:30～17:15) | 所在地 玉名市岩崎 273
玉名合同庁舎内
☎ 0968-73-4411 |
| ○ 人吉労働基準監督署
(月～金 8:30～17:15) | 所在地 人吉市下薩摩瀬町 1602-1
☎ 0966-22-5151 |
| ○ 天草労働基準監督署
(月～金 8:30～17:15) | 所在地 天草市丸尾町 16-48
☎ 0969-23-2266 |
| ○ 菊池労働基準監督署
(月～金 8:30～17:15) | 所在地 菊池市大琳寺 236-4
☎ 0968-25-3136 |

独立行政法人労働者健康安全機構の所在地

- | | |
|---|---|
| ○独立行政法人労働者健康安全機構
未払賃金立替払相談コーナー
(月～金 9:15～17:00) | 所在地 神奈川県川崎市幸区堀川町
580番地
ソリッドスクエアビル東館
☎ 044-556-9881 |
|---|---|